

11 月の日本留学試験 (EJU) 結果

黄皓雪さん、370 点で世界一
進学クラス平均は 290.5 点

11 月 10 日に世界 15 か国で実施された 2019 年度第 2 回日本留学試験(EJU)の結果が、12 月 20 日に発表されました。国内外の総受験者数は 27,412 人でした。(うち「日本語」の受験者は 26,821 人)

JET で 5 人目の世界最高点

校内では 25 人(うち進学クラス 24 人)が受験し、進学クラス
の黄皓雪さん(マカオ)が「日本語」(400 点満点)で 370 点を
得点し、世界最高点でした。(全世界の受験者のうち 370 点
は 172 人いました。)

EJU で得点調整が行われるようになった 2010 年以降、JET
では 4 人が世界最高点を記録しています。黄皓雪さんは、
2017 年 11 月に 371 点をとった陳禾家さん(台湾)以来です。

2 回連続、世界平均に 40 点以上の差

進学クラス(A、B クラス)の平均点は 290.5 点で、世界
全体の平均 248.7 点を 41.8 点上回りました。6 月実施の
EJU でも、世界全体の平均が 234.1 点に対して、進学
クラスの平均は 276.6 点と、42.5 点差をつけていまし
たので、今年度は 2 回連続で世界平均を 40 点以上上
回ったことになります。

分野別でも黄皓雪さんが世界最高

分野別に得点状況を見ると、「聴解・聴読解」(200 点満
点)で、黄皓雪さんと Goh Jun Xian さんの 2 人が世界
最高点の 172 点を記録しました。また、「読解」(200 点
満点)では、黄皓雪さんが 198 点で世界最高でした。
校内 2 位は黄玫嵐さんの 194 点でした。日本語の「記
述」(50 点満点)でも黄皓雪さんが 50 点で世界最高
でした。

基礎教科では Tan Xin Wei さんと黄玫嵐さん

EJU の基礎教科では、理科系で Tan Xin Wei さんが
数学、物理、化学の合計(400 点満点)で 313 点を獲得
し、6 月に続き校内トップでした。

文科系でも黄玫嵐さんが数学と総合科目の合計(400
点満点)で 311 点を取り、6 月に続き校内トップで
した。

「日本語」校内ベスト 5 (400 点満点)

順位	クラス	氏名	出身	得点
1	A	黄 皓雪	Macau	370
2	A	黄 玫嵐	台湾	350
3	A	Mellisa Ardelia	Indonesia	343
	A	Goh Jun Xian	Malaysia	
5	A	呂 長澄	台湾	341

大学生招いて「大忘年会」

JET の 2019 年を締め括るのは、もちろん恒例の大忘年会！
12 月 20 日、ハイライフプラザで行われました。明治大、拓殖
大、学習院大から日本人学生が 10 人も来てくれて、全体で 150
名近くの賑やかな会になりました。

司会は王永翔さん(台湾)、Lee Chee Hong さん(マレーシア)、
Mahesa Pamungkas Sugiharto さん(インドネシア)の 3 人が担
当。本格的なコスプレとテンポ良いトークで会場を盛り上げて
くれました。

まず参加者全員で各クラスの手作り料理を楽しみました。各
国代表料理の他に、国のおばあちゃんが作ってくれた料理を再
現してくれた学生もいて、なんだかほっこりしました。どれも
とってもおいしくて余さず平らげました。

食事のあとは 2 つのゲームでハッスル！企画も進行も学生た
ちだけで行いました。優勝チームには素敵なプレゼントも！ゲ
ームを考えてくれた、D クラス、G クラスのみなさんありがと
うございました。

ラストはお馴染みビンゴ大会！いい景品が最後まで残ってい
たことと、巧みな司会進行により会場は大盛り上がり。毎回好
評の(?)「校長先生との食事券」を巡っては当選番号を読み間違
えるハプニングなどもあって、楽しい時間を過ごす事ができま
した。みんなの協力があって完成するこの大忘年会。今年も大
成功でした！(岡田安弘)



就職セミナー全5回終了

今学期も JET 卒業後に日本国内での就職を希望する学生を対象に、校内就職セミナーを開催し、中級クラスの学生 10 名が参加しました。

まずは 10 月 16 日、日本の企業や就職セミナーについてのガイダンスからスタート。日本人の仕事観や業種別の給料など、興味津々に聞いていました。

その後、留学生の就職活動を支援している(株)Asia Link の方を講師としてお招きし、10 月 28 日に「業界分析・自己分析」、11 月 6 日に「自己 PR・履歴書の書き方」、11 月 13 日に「面接練習」を行いました。

12 月 18 日には、東京商工会議所から企業経営者の皆様にお越しいただき、今回も「企業経営者との意見交換会」(下の写真)を開催。今回はオブザーバーとして、世界アジア人材支援協会の方にもご参加いただきました。外国人を採用する企業側の生の意見を聞いたり、個人的な相談をしたりと、とても活発な意見交換が繰り広げられました。

自分自身を見つめ直し、深く考えることは意外に難しいもの。でも、就職活動をするにあたっては不可欠なプロセスなのです。参加した学生からは、「自分が進みたい道がはっきりした」「就職だけでなく色々なことを考えさせられた」との感想が。この就職セミナーが今までの自分を振り返り、将来について考える良いきっかけとなれば嬉しいです。(草塩仁美)



北区短期国際交流員として

方 少麟 (香港)

8 月、私は北区の短期国際交流員として、あすなろ福祉園に行きました。この五日間はとてもいい経験になりました。福祉園の皆さんには暖かい目で見守っていただきました。

この経験は、私の昔の仕事とそっくりなところがあります。私は中学の寮で働いていたことがあります。一部の中学生達は学習障害があります。ある時彼らに勉強しなさいと言ったら、言葉はわかるけどやりたくないと言います。気持ちを自分でコントロールすることができないのです。最初は、学生はただ反抗期なのだと思いますが、しかしそうではありませんでした。実は一人一人のストーリーがあります。そのストーリーを知ったら、学生の行為がわかるようになります。中学生だけでなく、

障害者も同じです。

最初障害者に会った時、何回も彼らがかawaiiそうという考えが浮かびました。自分の気持ちも言えないし、コントロールすることもできないからです。でも担当者の加藤さんと話すと、その考え方は消えました。加藤さんによると、私たちの目から障害者を見ると、かawaiiそうとか悲しい気持ちになるかもしれませんが、障害者達の世界を全部わかるわけではありません。逆に障害者は私たちがいつも持っている恥ずかしい感じが全くありません。

この五日間で、私の人生観が変わってきました。私たちは話せる、でも気持ちと本音をいつも隠して、あまり人に見せません。障害者は好きなら好きと言ったり、喜びに踊ったり、笑ったり、叫んだりします。どうして、私は障害者のように自分のことを表せないのでしょうか。

この五日間あすなろの皆さんにお世話になりました。どうもありがとうございました。

ふるさと北区区民祭りで活躍

10 月 5 日、6 日に行われたふるさと北区区民まつりに 22 人の学生有志と教師が参加しました。北区を盛り上げようと、いま大ブームのタピオカミルクティーを販売しました。

2 日目昼からやっと天気も回復し、工夫を凝らした手作り看板や積極的な呼び込みが功を奏し、400 杯を売り切りました。

学生達はお客さんに喜んでもらった経験と、売り切った達成感でとても楽しかったと言っていました。たくさんの人と食を通じて交流することができました。

売上金は、頑張った皆で分配し、更に後援会から図書カードが贈られました。(石津慎也)



今年もすごかった北区花火会

9 月 28 日、北区を愛する区民が手づくりで開催する『北区花火会』(荒川河川敷・岩淵水門)に約 20 人が参加しました。

定評あるストーリー花火の今年の主人公は渋沢栄一翁。日本近代化の立役者渋沢は北区飛鳥山の人です。陸上自衛隊第一師団音楽隊の演奏あり、北区赤羽出身のエレファントカシマシとのコラボあり、全国の有名花火の博覧会あり、フィナーレは米津玄師の Lemon が鳴り響き、ぎっしり濃い 1 時間 8888 発の花火に歓声を上げました。家族連れでほろ酔い気分で見ている学生もいましたね。(得猪節子)

ア ク テ ィ ビ テ ィ

〇8 月 13 日 プロ野球観戦

学生 20 人を連れて、東京ドームで行われた日本ハム対ロッテの試合を観戦しました。今期日本ハムに入団した台湾人選手「王柏融」を応援しに行きましたが、怪我の影響で残念ながら出場ならず…。それでも学生は目の前で繰り広げられる熱戦に釘付けでした。安弘先生の目の前にファールボールが飛び込んできましたが、キャッチできませんでした。元野球部なのに…。

〇8 月 25 日 よさこい祭り参加

夏ばてをぶっとばせ！14 人の元気な学生が「原宿スーパーよさこい 2019」に参加しました。当日は NGO 世界アジア人財支援協会の方々がサポートしてくださり、炎天下の中、一生懸命踊りました。全 3 ステージありましたが、回を増すごとに上手になっていく学生に負けまいと、教師たちも頑張って踊りました。学生は事前に日本伝統文化伝承師の佐々木様にご指導いただき、秘かに個人練習に励んでいたようです。その成果が当日発揮できて、学生もうれしそでした。(岡田安弘)



〇9 月 12 日 護摩行体験

D クラスは門前仲町の深川不動堂へ参拝しました。護摩行では大太鼓やお経、護摩焚きの炎などで心身を清めました。学生たちは「迫りに圧倒された。いいことがありそう！」と話していました。

〇9 月 28 日 相撲の断髪式見学

就職セミナー等でお世話になっている㈱オリジネーター様から、里山関の引退相撲のご招待をいただき、学生 9 人が観戦しました。取り組みはもちろん、大量の塩撒きや普段なかなか見られない断髪式など、盛り沢山のイベントに大満足！

〇10 月 19 日 阿波踊り

板橋区民祭りの一部「阿波踊り」に D クラスの Su Leo Yixing 君が参加。習いたての踊りを披露し、見物客から拍手をもらっていました。

〇10 月 20 日 オール早稲田による「第九」

オーケストラ、合唱団はもちろん、独唱も指揮も全員(総勢 250 人)が早稲田大学の卒業生というコンサートに井上校長が出演し、学生たちを招待しました。早大キャンパス内でベートーベンの交響曲第 9 番など迫力の演奏を披露しました。

〇11 月 9 日 ボウリング大会

板橋区の国際交流ボランティアサークル「仲間」主催のボウリング大会に 3 人が参加しました。施俊安君(台湾)は豪快なストライクを連発し、見事優勝！インドネシアの Brian 君と Nara 君も覚えてたの日本語を使って、他の参加者と交流しながらボウリングを楽しんでいました。

〇11 月 26 日・12 月 5 日 大嘗宮参観

新天皇陛下ご即位後に行われた大嘗祭の舞台である大嘗宮が、18 日間限定で一般公開され、I クラスと D クラスが見学に行きました。皇居の乾通りの一般公開も始まって、紅葉狩りも楽しめました。学生達は大嘗宮を実際に間近で見られ、家族にも自慢できると笑顔で話していました。

〇12 月 13 日 文楽鑑賞

学生 9 人を連れて国立劇場へ文楽鑑賞に行ってきました。演目は江戸時代に実際に起きた放火事件が題材となった『伊達娘恋緋鹿子』、そして近松門左衛門の名作『平家女護島』。途中の休憩時間では床本を見てあらすじを確かめたり、帰り道学生同士で内容の答え合わせしたりと、各々楽しんでいました。

〇12 月 22 日 佐々木真フルートリサイタル

フルートリサイタル(銀座王子ホール)に本年も 10 名をご招待いただきました。今年是有田正広氏とのデュオ。「2 本のフルートの共鳴が生み出す風の響きは新鮮な経験だった」とは Tan



Xin Wei さん
(マレーシア)の感想です。

佐々木真氏(中央)・有田正広氏(後列左)と。

〇12 月 29 日、30 日 年末の「第九」コンサート

校長先生が出演するオーケストラ(MAX フィルハーモニー管弦楽団)の演奏会に学生 6 人を招待しました。

桜川小学校で交流

12 月 5 日、板橋区立桜川小学校の 5 年生と F、G クラスの学生が交流会を行いました。JET の学生による国紹介や各国のゲームをして盛り上がりました。

普段の授業で扱われることのない、小学生が相手の会話。準備段階から「小学生にも伝わる日本語」を意識して発表内容を練り、当日も試行錯誤しながら小学生との意思疎通を図っていました。いつもとは異なる視点で日本語に触れるいい機会になりました。

交流会の最後に JET を代表して挨拶したのは J Vyn Yew Tungtze さん(マレーシア)。「外国人に先入観を持たないで、自分の目で確かめてください」という言葉に、小学生の顔がそれまでのニコニコしたものから真剣な表情に変わっていくのがわかりました。この交流会が JET の学生にとっても、小学生にとっても有意義なものであったことを実感しました。(角南瑞樹)

介護スピーチ大会に出場

海外産業人材育成協会(AOTS)主催の「看護・介護にかかわる外国人のための日本語スピーチコンテスト」に、本校で日本語を学んでいる介護福祉士候補生 2 名が挑戦しました。惜しくも 11 月 2 日の大会出場は逃しましたが、日本で働くことを決意し、国家資格取得までの 3 年間、働きながら日本語を学ぶ姿がよく表現されています。

※ ※ ※

笑顔で頑張る

Redi Antoni(インドネシア・川口さくらの杜勤務)

皆様こんにちは。私は川口さくらの杜のレディ・アントニと申します。インドネシアの介護福祉士候補生です。本日は日本の介護について話をさせていただきます。

実は、私は看護にも介護にも興味がありませんでした。なぜかという、私は子供のころから絵をかくことが好きで、家のデザイナーになりたいと思っていました。2013 年に高校を卒業して、家の設計の大学に申し込みましたが、母に看護大学に行くように言われました。

本当は自分の夢に向かって進みたかったのですが、大好きな母の私に対する希望でしたので、母の夢のために看護大学に入りました。でも、その時、悲しいことがありました。大学入試の日、母が亡くなってしまいました。

母が亡くなる時、私は母のそばにいませんでした。母から私にメッセージがあると姉から言われました。そのメッセージは「仕事は心を込めてやること、笑顔で頑張るなさい」と母が言っていたと聞かされました。

母が亡くなった時、私は母の死に立ち会えませんでした。悔しさと悲しさをバネに看護師への道を決意しました。その後、私は本当に看護のことが好きになりました。そこで自分の中であることを決意しました。それは誰でも家族のようにお世話をしようと思ったことです。

今、一年ぐらい介護の仕事をやっています。今でも母のメッセージを思い出します。ある日、職場で利用者さんのトイレ誘導をやっている時、急に利用者さんが「痛いよ」と言いました。その時、本当にびっくりして、心臓の音が速くて、もう新幹線のように止まりませんでした。でも、私は必ず笑顔で利用者さんの訴えに対応しなければなりません。

「A さん、どこが痛いんですか。」

「腰が痛い、足が痛い、全部痛いよ。」

「そうですね、すみませんでした。もっとゆっくり介助をしますね。」

「そうだよ。痛いから。」

「A さん痛いという言葉を言わないでくださいね。痛いと言うと、もっと痛くなってしまいますからね。痛いとき、笑った方がいいですよ。やってみてください。」

「何で？便所で笑うのは変じゃない？」

「そうですね。A さん、私を見てください。毎日 20 人ぐらい利用者さんのトイレ誘導をやっていると腰が痛くなるんじゃないですか。仕事から帰った後、こうやって、こうやってベッ

ドで芋虫みたいに一晩中寝られないこともありますよ。」

「そうなんだ。(笑)」

「あら、A さん。今笑ってしまいましたね。便所で笑うのは変じゃないですか。」

利用者さんがまた笑いました。

仕事でそういう面白い話もありました。EPA の皆さんも職場でいろいろな経験があると思います。おこりっぽい利用者さんもあるし、何でも言う利用者さんもあるし、何も話さない利用者さんもありますよね。いろいろな利用者さんの状態がありますが、皆さんはどういう対応をしていますか。私たちは優しく対応したいですが、何と言っていいか迷う時もあります。わからない言葉もありますから。そんな時は言葉がなかなか出なくても、利用者さんの背中を撫でながら、笑顔を出します。笑顔だけで言葉より気持ちは伝わります。「大丈夫、大丈夫、利用者さんの気持ちはわかっています。私がいますよ。心配しないでください。」という気持ちで接しています。利用者さん達も私達の笑顔を見て、安心するかもしれません。

人間は年を取ると、子どものように戻ることもありますから、少し冗談を言って笑顔で優しく過ごしましょう。今日の伝えたいメッセージは、病気を治すのは薬だけではなくて、大切なのは心と笑顔です。皆さんも芋虫みたいに寝られなくても、利用者さんを家族のようにお世話をして、笑顔で仕事を頑張ってください。笑顔はただです。笑顔はお金がかかりません。できないわけがないですから。皆さん一緒に頑張りましょう。

※ ※ ※

笑顔に助けられ

Irene Sarmiento (フィリピン・道合さくらの杜勤務)

ドイツの名言で「勤勉なしに賞はない」という言葉があります。これは「努力と勤勉によって何でも達成できる」という意味です。

私達はどこにでも行ったり、働いたりすることができます。それらは困難へのチャレンジでもあり、すばらしい経験になると思います。私は失敗を恐れていません。失敗することで勉強になることがたくさんあるからです。そして神様がいらっしゃるので全てが実現可能だと思っています。

2 年前に、私は「どこで働き続けるか」を考えていました。母国で看護師として働いていくか、それとも日本で働くことを選ぶか。

私は子供の時、よく親戚と近所の人に日本について聞かされていました。日本はすてきできれいで豊かな国です。もし日本で介護士として働いたら、給与が高くていいと思いました。

また、日本人は謙虚でとても親切な人達です。だから日本で働くことにしました。残念なのは、日本は英語で話せる人があまりいないのでコミュニケーションが大変なことです。

昨年の 12 月 13 日に、現在働いている施設を初めて訪問しました。私の職場では、上司や先輩がとても親切でよい方達で安心しました。

私達はそれぞれのユニットに配属されて働き始めました。利用者様の中には、世話をされるのが好きではない方や、すぐにイライラされる方がいます。その方は認知症です。ただ認知症

であっても、日常生活には問題なく、自分でできるので介助も大変ではありません。その方は、初めて会った時は笑顔で私と話してくれましたが、2日目から急に態度が変わってしまいました。お世話されるのがあまり好きではないので、いつも大きな声で「大丈夫」とか「自分のことは自分でできるよ」と言っています。初めはそう言われるとなんと返事していいかわからず、あまり深く考えないで「はい、わかりました」としか答えませんでした。母国で病院の看護師として働いていたので、このように言われることは慣れています。とはいえ、利用者様は人それぞれでいろいろ違うこともあり大変です。日本語での利用者様との会話は難しく、さらに母国で認知症の方をお世話した経験がないので、正しい知識もあまりないため、全てのことが私にとって新しい挑戦でした。初めての月は、たくさんの失敗がありました。その利用者様の近くに行った時に、「だめ、だめ、知らないよ」と言われ、私は自己紹介をしてしまいました。その事は利用者様をイライラさせる事になってしまい、「だまれ！関係ないよ」と言われてしまいました。そこからその方の介助が全然できなくなってしまい、他の職員の方が手伝ってくださいました。

ユニットの先輩職員は、様々な対応方法を工夫されているので、私も先輩のような対応を試みましたが、何一つ成功しませんでした。でも、ストレスが溜まって、その方に怒るわけにもいかないので、母とテレビ電話をしながら泣いてしまいました。母が、「You tube でそのような方の介護のやり方を見た方がいいと思う」とアドバイスしてくれました。そのため、アドバイス通りビデオを見て勉強しました。

認知症にかかっている方は、自分の世界があるので、その方の意見と考えに反対せずに同意すること、怒っている時にアプローチをしない方がいいことを学びました。

ある日、私がテーブルを拭いている時、その方は椅子に座っていらっしゃいました。そのうちお腹が痛そうな様子を見せたため、近くに行って様子を確かめさせていただいたところ、私に久しぶりに笑顔を見せてくれました。その時私は、「どうしましたか。一緒にお手洗いにいきましょうか」と声がけをしたところ、その方は「はい、そうですね。本当、本当」とおっしゃいました。

心の中で私は、とてもうれしくて、涙が出ました。もちろん喜びの涙です。その方は、お手洗いから出てきて、初めて私に「ありがとう」と言ってくれたので、とても嬉しく良い思い出になりました。その後、私を助けてくれているのは、その方の笑顔です。その笑顔は私にもっと頑張る力と、なぜ頑張らなければならないかという意味を教えてくださいました。

私は、以前より成長しました。私にとって、介護福祉士になることは非常に難しいことですが、病気の症状などで苦しんでいた、困っている利用者様のサポートをこれからする努力が必要であり、それに忍耐も必要です。でも経験を重ねることで、努力は実り、乗り越えることができると思います。

「雪組」全員が N3 合格

桐和会から JET が日本語指導を委託されている、EPA による介護福祉候補生 20 人が、7 月の JLPT で N4 から N2 までのレベルにチャレンジしました。能力別クラスに分かれての授業が功を奏し、どのレベルでも好成績でした。中でも「雪組」(2019 年 1 月に入学、当初は N4 レベル。)は全員が N3 に合格し、上のクラスに迫る勢いです。

祝合格

(2020 年 1 月 1 日現在)

【大学院】

○蔡伊庭 (台湾) 国際教養大学専門職大学院 グローバル・コミュニケーション実践研究科

○Vivattanasan Piraya (タイ) 青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科

○廖悦廷 (台湾) 日本大学大学院 商学研究科博士前期課程

【大学】

○黄玫嵐 (台湾) 青山学院大学 総合文化政策学部

○Kreszens Hidayat (インドネシア) 東海大学 工学部

○Stanley Jusuf (インドネシア) 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部

○Mellisa Ardelia (インドネシア) 東京理科大学 理学部第一部

○Asa Satyagraha (インドネシア) 東京理科大学 理学部第一部

○黄皓雪 (マカオ) 日本大学 理工学部

○Goh Jun Xian (マレーシア) 日本大学 理工学部

○Nurul Hafizah Binti Hassan (マレーシア) 文化学園大学 服装学部

○林恒璋 (台湾) 武蔵野美術大学 造形構想学部

○Stanley Jusuf (インドネシア) 立命館大学 情報理工学部

【専門学校】

○Su Leo Yixing (オーストリア) 尚美ミュージックカレッジ専門学校 アレンジ・作曲学科

○楊惟中 (台湾) 専門学校東京ビジュアルアーツ 写真学科

○Ip Adrian (オーストラリア) 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京 ミュージックアーティスト科

○方少麟 (香港) 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京 ミュージックアーティスト科

○陳旭東 (台湾) 中央工学校 3D-CAD 科

○徐子媛 (台湾) 東京アニメーションカレッジ専門学校 アニメーション学科

○梁鈞璋 (台湾) 東京スクール・オブ・ビジネス 経営学科

○游定儒 (台湾) 東京スクール・オブ・ビジネス 経営学科

○游茹婷 (台湾) 東京製菓学校 洋菓子本科

○陳怡君 (台湾) 東京デザイン専門学校 グラフィックデザイン科

○巫銘皓 (台湾) 日本菓子専門学校 製菓技術学科

○邱依雪 (台湾) 日本菓子専門学校 製菓技術学科

○Daniel Fayrouz (モロッコ) 文化外国語専門学校 日本語通訳ビジネス科

○陳奕安 (台湾) ホンダテクニカルカレッジ関東 自動車整備科

○施俊安 (台湾) 山手調理製菓専門学校 製菓総合本科

千本財団奨学生に Mellisa さん

千本財団の第2期奨学生にAクラスのMellisa Ardeliaさん(インドネシア)が採用されました。JETからは初の採用です。

11月16日に認定授与式が行われ、キャリア形成についてのお話や大学生活へのご助言をいただいたようです。

千本財団は将来アジア太平洋各国のリーダーとなる人材を養成することを目的に、第二電電(現 KDDI)をはじめ、数々の企業の創業に関わられてきた実業家・千本倖生氏によって設立され、16校の日本語学校を対象校にしています。

校内研修の取り組み

2019年度前期も「教師力向上」を目的に、校内で様々な研修に取り組みました。

A. 初任者研修(教師歴3年以下を対象)

5回実施。毎回テーマを決めて教案を準備し、発表後、意見交換。

B. 中堅者研修(教師歴6年以下を対象)

3回実施。実際の授業を想定して、デモ授業を行い、意見交換。

C. 実践報告会(全教師対象)

9月26日、前期に新しく取り組んだ授業や、課題の残った授業について、3人の教師が発表。

後期も11月に初任者研修、中堅者研修を行いました。引き続き、2月、3月にも研修をおこない、より質の高い授業づくりに取り組みたいと思います。(山口閑子)

8日間の教育実習を終えて

10月15日から25日まで、学習院大学文学部日本語日本文学科から教育実習生を2名受け入れました。

★ ★ ★



関根 千紘
澤口 さん 右と

日本語教師への思い強まる

関根 千紘

実習が終わってはじめに感じたのは「あっという間だった」ということでした。学んだことがとても多く、非常に濃い8日間でした。

実習中は多くの先生方の、また様々なレベルのクラスの授業を見学させていただき、多様な学習内容や授業の仕方を知り、また教壇実習では準備や授業の難しさやその解決方法を学びました。加えて、進路関連や寮の説明会に行かせていただいたり、事務作業を任せていただいたりして、また講師室での先生方のご様子を拝見して、授業外での日本語教師としてのお仕事についても見聞を広める機会となりました。特に進路に関しては、JET日本語学校の学生のみなさんがどんな進路を考えて学んで

いるのか、それに対して先生方がどのようなサポートをもって向き合っているのか、ほんの一部ではありますが知ることができたと考えています。大学で日本語教育を勉強していても、授業外の業務は知る機会がなかなかありません。また、日本語学校に実習に行ったからといってどこでも学校内のこのような説明会を見せていただけたとは限らないでしょう。今回JET日本語学校で実習をさせていただけたことに改めて御礼申し上げます。

今年の実習は祝日が重なり例年より日数が少なかったのですが、その中でも見学や事務作業、教壇実習の準備と実践、振り返り等、実にたくさんの内容を経験できるように計画していただき、実習中もご指導いただいたJET日本語学校の先生方、そして交流会や休み時間、放課後にたくさん話してくれた学生のみなさん、8日間本当にありがとうございました。実習を通して得た最も大きいことは、より一層強く「日本語教師を目指そう」と思うようになったことです。今後もこの経験と思いを忘れずに学びたいと思います。

= = = = =

一人ひとりに向き合える教師に

澤口 瑠璃

この2週間、JET日本語学校で実習をさせて頂き、本当にありがとうございました。実習に行く前は、とても緊張して不安もありましたが、いざ実習が始まってみると先生方や学生の皆さんが温かく迎えてくださり、とても充実した2週間を過ごすことができました。印象的だったのは、学生の皆さんが授業中、休み時間に関係なく一生懸命日本語を使っている姿、廊下ですれ違うと挨拶をしてくださったり、日本語で話しかけてくださったりする姿です。何より皆さんが楽しそうに日本語を学んでいる姿に感動しました。このように楽しく積極的に日本語を使っていく中で日本語が上手になっていくのだと実感しました。まだ日本語で上手く伝えられないこともある中で私と一生懸命話そうとしてくださり、とてもうれしかったです。皆さんのおかげで私も楽しく実習をすることができました。

また、お忙しい中で私達に色々な事を教えてくださった先生方にはとても感謝しています。多くの授業を見学させて頂き、授業の作り方だけではなく、授業中の学生の皆さんとのやりとり、休み時間の過ごし方、その他多くのお仕事を学ぶことができました。どの仕事も学生の皆さんのため、将来のためを考え、一人ひとり丁寧に対応している姿に感銘を受けました。私は高校生の時から日本語の先生になりたいと思い、大学では日本語教育を専攻しましたが、この2週間の実習で改めて日本語の先生になりたいという思いが強くなりました。JETの先生方のように一人ひとりに向き合えるような日本語の先生になりたいです。

最後に短い間でしたが、本当にお世話になりました。このような素敵な学校で実習ができたことをとても嬉しく思います。日本語の先生になれるように、私も皆さんに負けなくらい一生懸命頑張ります。皆さんも楽しむことを忘れずに、日本語の勉強がんばってください。応援しています。本当にありがとうございました。

10 月生 48 名入学

139 名 9 クラスで新学期スタート

10 月 1 日のクラス分けテスト、2 日の入学式・オリエンテーションを経て、3 日から授業が始まりました。10 月期は 9 ヶ国 48 名の新入生を迎えました。

全体 139 名の主な国籍別の割合は、台湾 51%、インドネシア 21%、マレーシア 9%、タイ 4%、ベトナム 4%、香港 3%、韓国 2%です。

皆勤賞 2 名に

9 月に日本語コースを修了した 11 名のうち、許禎芳さん(台湾)が 1 年半の、張家溱さん(台湾)が 1 年の皆勤により表彰されました。後援会から図書カードが贈られました。

雨の鎌倉遠足 ☂

全校で行く秋遠足！今年は鎌倉に出かけました。当初はハイキングの予定でしたが、台風 15 号の影響により通行止めになってしまい、神社仏閣巡りに変更。北鎌倉から円覚寺、建長寺(下の写真)、鶴岡八幡宮の 3 か所を参拝しました。各所で寺院にまつわるクイズを行い、先生と一緒に境内を散策しました。建長寺を拝観後、急に雨脚が強くなり、残念ながらクラス単位での解散となりました。雨の中の遠足でしたが、日本の歴史と文化を体験できたのではないのでしょうか。(岡田安弘)



つけば学究の徒となり、博士号を取得した後、帰国して大学で観光学の先生としてひっぱりだこです。JET 時代に金美齡先生のお宅に遊びに行きたいと言って本当に呼んでいただいたことや焼津ホームステイでお世話になったホストファミリー(小野田様)ともずっとおつきあいが続いていることなど、当時のニックネーム「夏子」そのままの夏ちゃんの話は尽きず、15 年以上の歳月を感じない愉快的な再会となりました。(得猪節子)



台北海洋科技大学にて。楊文慧先生(右)と得猪(中央)

学 校 日 誌

- 8 月 9 日 サマーコース(会話クラス)終了
- 8 月 29 日 期末試験
- 9 月 11 日 専門学校進学についてのガイダンス
- 9 月 13 日 修了式
- 11 人が日本語コース(1 年、1.5 年、2 年)を修了
- 9 月 18 日、20 日 EJU 模擬試験
- 9 月 19 日 進学クラス期末試験
- 10 月 16 日 寮生のミーティング
- 10 月 18 日 専門学校の面接練習
- 10 月 19 日 東京ビジネスカレッジ主催の日本語模擬試験
- 10 月 23 日、25 日 チャレンジ模試
- 10 月 28 日 校長先生による世界史特別授業
- 11 月 5 日 専門学校の面接練習
- 11 月 11 日 翌年度進学クラス生対象の英語と数学のテスト
- 11 月 25 日 数学プレ授業スタート
- 11 月 29 日、12 月 2 日 レントゲン検診
- 12 月 3 日 専門学校の面接練習
- 12 月 6 日 避難訓練
- 12 月 9 日 研究計画発表会

台湾で活躍する卒業生たち

台湾の大学で日本就職事情の講義

9 月中旬に台湾へ出かけ、卒業生の活躍する姿を目の当たりにすることができました。9 月は台湾の新学期で、9 月 19 日に訪ねた台北海洋科技大学(淡水校)の楊文慧先生(2003 年卒)担当の商用日語(4 年・2 年 約 45 名)のクラスもこの日が初日。こちらで授業に入らせていただきました。初めて日本語にふれる学生たちの中に入って簡単な自己紹介を練習し、いっしょに日本語第一歩を楽しみました。授業後半は楊先生の流暢な通訳で『留学生の日本就職事情』について説明しました。楊先生は旅行ガイドになるつもりで日本留学しましたが、大学院に進んで気が

■2020 年スケジュール■

- 3 月 6 日(金) 卒業式
- 3 月 9 日(月) ~27 日(金)
- 2020 年度進学クラスのための特別授業
- 4 月 1 日(水) クラス分けテスト
- 4 月 2 日(木) 入学式・オリエンテーション

大学生との交流活動

〇9月2日 学習院大生

学習院大学の学生6人が来校し、BクラスとCクラスで交流会を行いました。

〇9月25日 東工大へ

東京工業大学の交流サークル SAGE の招待をうけて、進学科の学生10人が東京工業大学を訪問し、交流会に参加してきました。SAGE の大学生たちと大学の正門で顔合わせした後、キャンパスを案内していただきました。建物の説明に聞き入り、その場から離れられない学生も。双方が和やかな雰囲気になったところで教室に入り、交流会となりました。

東工大の学生さん(2年生)のリードで積木式自己紹介、東工大の紹介・SAGE の紹介、中国人留学生による大学生活の発表と続きました。その後、4つのグループに分かれて話し合い、発表して意見を共有しました。「学生はアルバイトをするべきか」「学生生活が終わるまでに何を実現したいのか」というテーマについて JET の学生も臆することなく、しかも楽しげに日本語で意見を述べる姿に、東工大の日本人学生も留学生も感心していたようでした。交流会の終わり際に、ローさん(昨年のリーダー・マレーシアからの留学生)とケビンさん(2018年 JET 卒)も加わり、終わりの時間を30分も延長していただくほど盛り上がりしました。参加した JET の学生は、来年の大学生活の一部をイメージできたようです。一層勉強にも力が入ることを期待したいです。



(木村晴美)

〇10月23日 早稲田大へ

早稲田大学国際学生友好会(WIC)が主催するハロウィンイベントに、4人の学生が参加しました。うち3人は10月に来日したばかりの初級クラスの学生。日本語で話したい!日本人と友達になりたい!と、勇気を持って参加してくれました。イベントでは自己紹介から始まり、クイズ、ゲーム、ビンゴといろいろ楽しんだようです。(岡田安弘)

〇11月8日 お茶の水女子大生

お茶の水女子大生4人が来校し、Dクラス15人とグループに分かれて交流しました。日本の高校の教育や大学生活について質問しながら活発なやりとりがされ、休み時間も返上でしゃべり続けの2時間でした。

お茶大生からは「JET との交流は最近で一番たくさん話できて楽しかった」「日本語ペラペラですね」とのコメントをいた

だきました。

JET 生からは、お茶大の中国人留学生ショウさんの日本語が日本人と比べても全く遜色ないのに驚きの声があがり、「わたしもがんばりたい」と奮起していました。その週末の大学祭(微音祭)にも4人が出かけ、大学生の案内でキャンパスツアーしてきました。(得猪節子)



大学生は学園祭実行委員であり、ピンクのはっぴを来ています。



「一週間分ししゃべった!」

〇11月21日 SNIE と拓大生

拓殖大学より3人、国際交流大学連絡協議会(SNIE)より3人がIクラスにやってきました。10月にあいうえおから始めて1か月半。写真や地図を見せながら国の食べ物や名所をがんばって紹介しました。かるたゲームでは日本人学生と互角に札を取り合っていました。1か月後のJET 大忘年会では再会を喜びました。さあ、たくさん話せるようにこれからもっとがんばらなくちゃ。(得猪節子)

〇11月24日 大学生との運動会

四ツ谷で行われた SNIE 主催の「オリンピック」に、JET から学生1人が参加し、その学生のチームが優勝したそうです。やったね!参加した学生は「日本人学生と話すのはちょっと難しかったけど、楽しかった」と言っていました。

2019 年度後期の日本事情クラス

- 〇「歌えうらら」(石津先生) 歌で日本語を学びます。
- 〇「君の名は」(角南先生) アフレコで発音を磨きます。
- 〇「話芸ひとかじり」(岡田先生) 落語に挑戦してみます。
- 〇「留学生日記」(藤井先生) スクラップブックングを楽しみます。